

第44回策定委員会開催概要及び議事録概要版

件名	第44回 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会	
日時	平成24年 1月12日 (木) 18:00~19:50	
場所	人権啓発センター 3階大会議室	
出席者	委員	片山信行、日下穰、國領弘治、阪本昌彦、佐藤真理、高杉美根子、田中幹夫、田中啓義、元島満義、森住明弘、安田美紗子、山口清和、山口裕司、吉岡正志、渡邊信久 (今井範子、木内喜久子、古海忍、坊忠一、三浦教次、吉田隆一委員は欠席)
	事務局	息田部長、阪本次長、吉住参事、村田課長、美馬主幹、平木主任、田中主務
	コンサル	堀 善雄
開催形態	公開	
記録作成者	奈良市施設課	
配布資料	資料90 第43回策定委員会開催概要及び議事録概要版 (案)	
会 議 内 容		
<p>開 会</p> <p>参事挨拶</p> <p>1. 議 事</p> <p>(1) 第43回策定委員会議事録概要版の確認</p> <p>(2) 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会よりの意見について</p> <p>(3) その他</p> <p>閉 会</p>		

議 事 要 約 内 容	
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> ● 定刻になりましたので会議を始めさせていただきます。 本日は奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会の第44回目の会合です。最後までよろしくお願い致します。 開会に先立ちまして、息田環境部長が挨拶するところですが、今日は予算ヒアリングをしておりますので、代わりまして吉住参事のご挨拶と致します。
事務局（吉住）	「参事挨拶」
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> ● 本日の出席状況ですが、委員総数21名の内12名出席頂いており、本日の委員会は成立しております。 それでは議事に入らせて頂きたいと存じます。議事の進行につきましては渡邊委員長にお願い致します。
渡邊委員長	<p>1. 議 事</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 皆様、本年もよろしくお願い致します。 資料確認からお願いします。
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> ● 本日の資料は、次第および資料90、第43回策定委員会開催概要及び議事録概要版（案）となっております。
渡邊委員長	(1) 第43回策定委員会議事録概要版の確認
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> ● 議事録の概要版についてですが、訂正等が入っていないですね？
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在のところ入っておりません。 ● 今日は問題ないということで、この会議の終わり次第、このままの内容で決定としたいと思います。
渡邊委員長	(2) 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会よりの意見について
元島委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 傍聴人並びに報道関係の方への資料提供について、委員の皆様にお諮りしたいと思います。既にお送りしています委員会からの意見は、傍聴の方及び報道の方に一旦お渡し、会議が終わった後、市長宛に、持っていくものですが、そのままの文章で行く訳ではなくまだ最終版ではありませんので、今日の時点では、一度回収させてもらって、言葉の言い回し等を直して、市長宛の文章としたいと思います。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● まだ推敲中なので、市長へお渡しされた後にお渡しするか、原稿がしみんだよりに載ったら、それを見てもらう等の方法でいいかと…。
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 有り難うございます。皆様、いかがでしょうか？ ● 異議なし。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 今日、第2稿ということで、委員の方、それから傍聴人の方にもお渡ししたいと思います。傍聴人の方には、この会議終わりましたら、回収させて頂きたいので、よろしくお願い致します。 おさらいしますが、去年の3月、策定委員会で、道路問題の解決ができない

ので、市の方から、能動的に動いて頂きたいと、2か所を1か所に絞りながら、特に道路は予算が絡みますから動いて、という形で要望書を出して、一旦、委員会から結論を出した訳です。それから半年以上経ちましても、表面上、動くことはありませんで、もう少し進めてください。道路については、制度上の問題もあるようなので、それも乗り越えて頂きたいという趣旨のものを、公式に市長宛にお渡ししたいということで調整していたものです。

では、棒読みさせてもらいます。

「意見書説明」

私は最初これを作ったとき、特に道路に関して、費用の問題が発生するというので、費用を捻出するのであれば、1kgあたり1円の有料化をすれば1年間に10億円くらいのお金になり、それを何年分続ければ、それくらいのお金は出せるはずというような表現をしました。結果的に、皆様方から頂いた、ご指摘・ご意見もあり、また、一般廃棄物の処理は市町村の義務であり、受益者負担といったものではないというのが、本来の廃棄物処理法の最初の汚物掃除法の理念ですので、有料化でお金を稼いで、ごみ処理施設の整備に回すという考え方は、法としてなじまない。だから有料化はごみの減量とセットで言われるということ、聞いてきまして、今回、有料化については、この文章には盛り込めておりません。ここで私が述べていますのは、そういうことを考えてみたということは、この議事録上残して頂きたいと思って、言っている訳です。もう一つ、2か所を1か所にとということで、前回の委員会で、委員から、塩漬けになっている土地の精算が今年度中に、大きく進みそうだということが、新聞報道等に出ているというお話を頂いたので、私もそれで決めたらいいと軽く発言をしましたが、その後、複数の方面から、そんな簡単な問題ではない等のご指摘頂き、やめています。それは私が調査不足で発言したという点で過失であり、申し訳ありませんでした。この2点が、大きく変更した点です。

皆様から、日付はともかく、今日はこの文章を直して、市長宛に持っていきようにしようという会議ですので、ご意見を頂きたいと思います。

A委員

- 前日も、発言しましたが、今のごみ処理場のごみが、山のように積まれています。先だって、部長さんは、年内に解決すると話されました。万一遅れて年度内という話もありました。でも毎日私が、あそこを歩いて見ていると、山は大きくなっていくんです。この残った処理できないごみは、何なのかよく分からないです。燃えないごみだとおっしゃるし、ごみ処理場のどこかがおかしくなっているんじゃないかという感じがします。

もう一点は、現在、粗大ごみ処理場の東側の建物の横で、12月の初めから、ボーリングやっています。何のためのボーリングなのかよく分からない。ごみが処理できない状況に、施設がなっているんじゃないかと疑問です。深刻な状況なら、この文章の中にもう少し書き込んで頂きたい。少し厳しい書き方をしないと、ごみ処理場が壊れたらどうなるかということ、これを充分踏まえて、この文章に、少し厳しく書いて頂きたいと思います。

渡邊委員長

- 事実関係はどうなっているのですか？

事務局（吉住）	● A委員から質問の不燃ごみの山ですが、昨年の節電対策で、一時的に止めたのと併せて年末は非常にごみの搬入量が多いので、山のように積んであります。只、12月上旬には、非常に多かったのですが、年末までというお話でしたが、半分近く残り、徐々に処理しているという状況です。ポーリングの件は、部長が来られたら確認して、改めてお答えさせていただきます。
A委員 渡邊委員長	● ごみの量は、減ってないです。増えています。私、毎日あそこを通るんです。 ● 一番大事なことは、量が一時的に増えても、減らせるだろうという見通しでしょうが、施設の老朽化によって、このままだと、ごみの山が減るどころか、どんどん大きくなっていくかもしれないという、そんな状況まで現在なっているんですか？
事務局（吉住）	● 今現在の焼却場はすでに稼動して27～8年ぐらい経ってますので、公称の処理能力は480トンでしたが、実際は300トンより少し切れるぐらいが精一杯となっています。できるだけオーバーホールの期間を短縮するなど、稼動日数を上げて、ごみ処理をしています。12月は、一番ごみ搬入量が多いので、節電対策も含めて、現在あのような山の状態が残っているということで、できるだけごみを効率よく処理していきたいと考えています。
A委員	● それから説明の中で、不燃ごみを燃やすという話の関係の認識がよく分らないです。不燃ごみをどうして焼却炉で燃やすのか。その辺の理屈がよく分らないです。不燃ごみなら、処理の仕方、違うんじゃないですか？理解できないところですよ。教えてください。
吉岡委員	● 委員長、実態は、後でお話させて頂くとして、A委員がおっしゃったのは、前段のその部分を前書きで書かれたらいかがですか？
渡邊委員長	● そうしましたら、この前段の現状施設の文章で、猶予は無いというところで、実際山が増えていますということをごここにしておくということですね。
森住委員	● 増えていると委員会として言おうと思えば、確認に行ったほうがいい。
元島委員	● 客観的な事実を掴まないよ。
渡邊委員長	● 近くで見られてどうですか？増えていますか？減っていますか？山が形成されることは毎年ですか？今年だけですか？
事務局（吉住）	● 私もここに来て7年くらいですが、一時山積みされた時はありますが、ほとんどの場合はありません。今回は多いということは理解しています。山の状態は、12月上旬に比べると、2分の1近くには減っていると理解はしています。
渡邊委員長	● 敷地の中でも風雨が当たる所にごみを置いておくということが尋常じゃないので、それが今年度生じたということは、間違いはないですか？
事務局（吉住）	● 今もその不燃ごみの山はなくなっていないので、間違いございません。
渡邊委員長	● 節電のためだけではないですね？この10年来初めて起こったことですか？
事務局（吉住）	● 私も7年間の内、数回くらいは、確認していますが、毎年こういう状態に対応しているということではございません。
山口（裕）委員	● 10月か11月ぐらいの議会で質問させて頂いたことがあり、工場関係の理事者から答弁で、節電の影響と予期せぬ故障があったということ、言われたんです。前回の当委員会で、A委員から、この問題についてお話がございまして、

元島委員	<p>息田部長が答えられている議事録の中でも滞積の理由については、オーバーホールと節電の問題と、一時的な故障があったと、はっきり言われています。炉が故障したために、ごみが滞積したのは間違いありません。議会の答弁で、年内中には4基とも稼働できるので、追いついて全部処理できるという話でしたが、それができてないとなると、まだ尾を引いていると言えるんじゃないかと思いました。</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員長が書かれた文章をすっきりと載せて強調しようというためにやっていると思いますので、前へ行くような方向でしてもらって。時々私も、一市民として、ごみを持ってお世話になっている訳ですが、山と言っても、それほど目立たないときもありますし、大きな故障があつて、稼働できなかった期間が、何ヶ月も及んでおれば山になりましようが、そうでなければ補修したら、また減っていく訳ですから、あまりつかないほうがいいと思います。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 事実のことを考えながら文章で表現したらどうかという、A委員からのご意見ですし、吉岡委員からは、前段の文章のところで少し入れたらどうかと。A委員から最後の、早急に解決すべき問題であるというところを、もう少し迫力ある文章にというご意見でしたが。最初に作ったものは、委員の方には手紙で送って、色々のご意見頂いたものですが、最初は実は、自分の性格もあつて、輝かしい歴史都市奈良の将来に泥を塗ることになりかねないということを書いたんですが、後味悪いので、やめました。吉岡委員のアドバイス通り、前段の最初の、猶予は無いの後に、2011年度には処理されずに、貯留されるごみの山が出現した、くらいは入れたらどうでしょうか？
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 2番目、2頁目の最後に期限を記した行程表を今年度中に明らかにしてほしいとあるんですが、この期限を記した行程表というのは、新クリーンセンターの建設稼働までの期限を記した行程表という趣旨だと思いますが、そういうように補って頂きたい。現時点で、どういう行程表なのかを年度内に明らかにしてほしいとしたほうがいいと思います。 <p>3番目の点で、全市民あげて早急に解決すべき問題であるというところですが、応分の協力と負担を申し出てほしいとありますが、これは市長宛の文章ですので、ここは、広く市民に応分の協力と負担を呼びかけてほしいというように改めたらいいのではないのでしょうか？ 更に続けてこの問題を全市民が自分のことと認識してリデュース・リユース・リサイクルをさらに推進してほしい。というように改めるべきではないのでしょうか？</p>
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 呼びかける相手の問題です。後のほうからですが、広く市民に応分の協力と負担を呼びかけてほしい、ですね。すなわちこの問題を全市民が自分のこととして認識して云々と、さらに推進してほしいと。全市民が認識して…、これでいいですか。期限を記した行程表が道路だけでなく全体の話であるということですが、ここは道路の話をしてる節ですから、いきなり全体を表せとなると、ぼやけてしまうので、道路は道路だけでどうですか？
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員長は、これ、道路の問題に限定する趣旨で。 ● はい、というのは、その前の2カ所から1カ所へというのは、今年度末まで

元島委員	● もう一つお願いしたい。抽象的になるかも分かりませんが、奈良の市長が率先して先頭に立って切り込んでほしいということで、是非入れてほしいです。
渡邊委員長	● どこかにつけ加えます？
元島委員	● 最後の3行の中に入ると思いますが。まとめて強調した方が。
渡邊委員長	● 改めて社会から尊敬されるのはあなたですと…。
元島委員	● 背負って立つのも、功名とも市長なんですから。
渡邊委員長	● 付け足しみたいですが、改めて世界から尊敬されること、すなわち市長のリーダーシップを望むものである、ということ。
元島委員	● それで充分です。
渡邊委員長	● 道路ですごく時間かかりましたし、制度の問題がやはり、一番大きかったようですので、それは乗り越えて頂いて、先に進めたらいいと思います。 あとは今の修正をしまして、1月中に市長にお渡しできる？ これは公開でお渡しすることになりますね。文面も表に出して。
事務局（吉住）	● 今日審議頂き、一部文章を修正頂いて、整理できる時間を見計らい、市長とのアポを調整したいと思えます。委員長から直接市長にお渡し頂くのか、その辺は、調整させてもらったかと考えております。
渡邊委員長	● 1月の方がいいです。本年度中にとということも入れてますので、2月半ば頃に本年度中にとは言えませんので。
事務局（吉住）	● 1月中ということで、説明させて頂きます。
渡邊委員長	● 内容も公開ですから、どのような形で公開しますか？ 市民だよりとかもあるでしょうが、マスコミさんに出してもらおう方がいいんですか？
事務局（吉住）	● 市民だよりは、1ヶ月半以上かかりますので、前回2カ所に、候補地選定して頂いたときのような対応が、一つの方法かと思えます。記者レクも併せて、奈良市のホームページで、策定委員会の項目もありますから、ご報告頂いたすぐにホームページの掲載は可能かと考えています。
渡邊委員長	● 文章は今日直しましたので、来週早々には市長さんの所に行って、詰めてください。
渡邊委員長	(3) その他 ● 申し入れの話に移ってよろしいですか？ 新聞もあるんですね。経過説明してください。
事務局（村田）	「申し入れ説明」
渡邊委員長	● 4か所から市長宛もしくは委員会宛に、文章がきているということですね。予定地、候補地の近隣からは、何か、文章は来ていますか？
事務局（村田）	● 東部の連合会等からは、文章は頂いておりません。道路整備、4車線化に関する申入書を頂いている…。
渡邊委員長	● 道路の話が進まない限り、反応もしない。場所を選定するにあたって、地元との話し合いが一番大事だということで、東部地域と交渉のテーブルにつけるように、そこを優先に進めたいと思っています。今は環境アセスメントですか

	<p>ね。問題があるならば、事前に最善策を打つための調査を行うと、制度上なっていますので、そういう中で対応していくのが一番いいと思います。私も仕事は工学部環境工学科の教授をしまして、ごみの処理処分に関わる、理化学的なことを教育・研究しています。上下水道についても素人ではないつもりです。人間が生活する以上、綺麗な蒸留水の中で生きていくことはできないので、いくらか周辺に与える環境汚染は必ずあります。そういったことも考えながら、どういうところがいい着地点か、問題を皆で考えてくれた方がいいと考えているんです。そういうところに発言して頂ける方が、段々増えてきたと考えている訳です。この対応として制度上は環境アセスメントがあると。中々進まないということもありましたので、以前から申し上げている、なるべく多くの市域の方が参加されるような、考えるための集まりができる状況に近づいているかなと考えています。</p>
田中副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元及び周辺の住民の方から、反対の声が上がるというのは、当然のことだと思います。申入書には、水がめから1キロと書いてありますが、左京地区は小学校から140m、それから老朽化しています。今度移転して新たに造れば、最新鋭のいいものが出来上がる。現状固定がいいのか。しかも50年間左京地区にあって、小学校ができてからでも20年間。かつてダイオキシンが垂れ流しの時期を経ております。他の地域に検討し直せるのか？ しかし我々が何年もかけて条件を比較・検討し、その上で絞った地域です。結論的に申し上げて、反対があるのは当然で、真摯に受け止めなければいけません、後戻りができないし、スピードを緩めることも、できないと思います。 <p>真摯に受け止めるという部分ですが、要するに今、2つの地域、抽象的にしか提示していません。抽象的な提示に対しては、抽象的な漠とした不安がでるのは当然だと思います。だから漠とした不安を解消して頂くために、具体的にどこにクリーンセンターの主体的な部分が配置されるのか。景観はどうなのか、交通渋滞、どういう対策をとるのか、具体的に提示する。それによって抽象的な不安というのをなくして頂き、色んな意見を言って頂いて、いいものを造っていく必要があると思うんです。真摯に受け止めるとは、とどまるのではなくて、むしろスピードを上げて、具体的なものを提示する。それは環境アセス的なものを積極的にして、真摯にこれを受け止めることだと思います。</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 田中副委員長のご意見は、反対があるのは当然である。内容が抽象的であるでも、これまでの経緯もあって後戻りできない。抽象的なことだからこそ、漠たる不安があるので、もっと具体的なビジョンを作る過程で、解決していく。もっとスピードも上げられるのではないかといったご意見でした。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 原則的にはそれでいいんですが、難しいのは、地元の住民の方に理解してもらおう手法です。これを考えながらしないと、綺麗事しか言っていないと、とられてしまいます。大事なことは、どういう形で地元の方と具体的な話し合いができるのかを、議論しない限り、難しいと思っているカベは破れない。その一つは、田中副委員長もおっしゃっていますように、具体的なビジョンを示し、地元の住民の方が挙げておられる懸念が、現実のものになるかどうか、具体的な絵を

<p>渡邊委員長</p>	<p>描きながら、その絵についての意見聞く。それがアセスメントになっている訳です。従来は、アセスメントをする場合に専門家など、よく知ってる方だけで議論をして、分厚い報告書にまとめて、それをパブリックコメントという形で、全市民の方に求める訳です。ところが、これ読みましても、全然分からないです。専門用語と数字の羅列です。こうなったら懸念が中々消えないです。大事なものは、私達がどういう方法でアセスメントをするのか、議論を公開の席でしながら、傍聴の人達に、それなら、仕方ないと思ってもらえるように、私達が話し合いをするのが大事だと思います</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 森住委員からのご意見は、田中副委員長と共通しているところもありますが、その地域以外の方からも、反対が出ますが、具体的なものを提示して、こんな形になります。これに意見をください。どう直したらいいのでしょうかという、相談の形にもっていけば、抽象的なものは反対だとはならないだろうというアドバイスです。ごみ処理施設ですので、現有の施設もかなり傷んできていて、予期せぬトラブルも有るし、今時、人口が30万、40万の都市で、発電もできない施設がまだあり、節電のためにごみを燃やせないというのも、かなり古い話だと思います。 <p>日本のごみ処理施設は、カロリーの15%くらいを電気エネルギーとして発電している。最近は大阪市の最新の東淀ですと20%になっています。かなり古い、例えば豊中市伊丹市クリーンランドでも、8%の効率を持っている。それぐらいのものが世間では常識になりつつあります。</p> <p>市長に対する要望、市民に対する要望、あるいは委員会に対する要望という形で、委員長である私の名前を書いて頂いておりますが、この委員会として、最優先したいのは道路です。道路関係のことを、最優先にさせてもらって、話の糸口を早くつかんで、具体的なビジョンを作って、現在の技術を使って進めるのが一番いいと思います。</p>
<p>森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路問題から最初にお話ししようとおっしゃいましたが、東部自治会だったらそれでいいと思いますが、今挙がっているのはよそですね。ここは道路問題より、公害問題が一番の懸念事項ですから。こういう所とは、一戸一戸に対して、誠実に回答するという方針で臨む方がいいと思うんです。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● それはそうです。只、一方ですますと言っていい顔して、実は進まないということがあってはいけないので、少し気を付けないといけないなと思います。 <p>環境汚染ですとか、浄水場のこともありまして、放射能がどうのと書いてあったと思いますが、放射能の話というのは、別に遠い話ではありません。我々もすぐ北の日本海側にいっぱい原子力発電所を持っています。決して我々のところで起こらない訳でもありません。現在できる対策は、こんな対策があって、それにはどれくらいお金がかかって、どれくらい効果があって、ということは、皆さんで話し合ったらどうかと思います。</p>
<p>森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的に、論点が挙がってますね。交通渋滞の問題と安全問題、浄水場が汚染されるかどうか。世界遺産に対する影響ですね。それから景観の問題。この論点別に、ここで公開の議論をしたらどうです？ そうすれば、何を調査する

<p>佐藤委員</p>	<p>べきか出てきます。そういう調査を私達が提案し、その提案を地元の方に了解してもらえるかどうか。そんな作業をしていったらいいんじゃないですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 森住先生の意見に反対はしませんが、先程、田中副委員長が整理されたことは大事だと思うんです。本委員会は、どこにどんな施設をとということで、一生懸命していて、それを後退できない。色々な意見があがっても、一つ一つ真摯に検討しますが、我々の本来の任務をここまできたのに後退させる訳にはいかないということですから、私に言わせるとかかりすぎているから、色々出てくると思うので、スピードアップしなければならないと思うんです。先程田中副委員長言われましたが、どの場所にどのような施設を造るのか、あるいは機種は何を選定するのかも含めて、その作業を早く進める。森住先生が、いつか言われたと思いますが、昔と違って、莫大な金をかけなければアセス出来ない訳ではない。2か所といっても、そう離れた地域でもありませんから、アセスの作業もしながら、どのような施設を造るのかという議論を、急いで進めることが、より大事じゃないのかと。ここは公開の場ですから、どんな方でも、参加できますから、これまで2か所に絞ったのは、まさに、ここに懸念で挙がっているようなことも全部踏まえたいうえで、絞られたはずですから、今までの、議論の成果を整理して提供すれば分かって頂けると思います。一つ一つ投げかけられるのに対して、その対応に忙殺されるようではまずいんじゃないかと。2か所の中でどこになるかですが、残念ながら東部の地域と話し合いができていないというのが現状ですから。これは市長もそういうこと言ってるんで、東部の地域との話し合いというか、東部の方との意見も踏まえて、用地の最終確定しなきゃならないので、どこに重点を置くのかということを考えてみる必要があるんじゃないかと思えます。
<p>森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 私のイメージは、佐藤委員に伝わらなかったんですが、例えば大気汚染の問題を議論するときは、具体的な排出の値さえ、はっきりしますと、それが風によって地元でどんなふう落ちていくのかは焼却工場がどんな施設かを議論しなくてもできるんです。景観の問題も、あちこちの焼却工場の写真を撮って、その写真を見て頂きますと、これは、景観を破壊しそうというイメージを持つ方と、これくらいならいいというイメージを持つ方、現実におられます。そういうことを調べて提示するだけであって、具体的な議論しなくてもいいんです。この挙げられた4つの論点。それから渋滞問題もそうです。今まで交通量調査して頂いて、具体的にどれくらい渋滞するのか、ほぼ数字も出てきました。それで渋滞問題は、充分議論できますから。この議論をすることは決して、一番大事な議論をおろそかにすることはないんです。充分関連しているんです。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回の申入書では、具体的な問題点もかなり出てきて、しっかりした内容を書いて頂いていますので、こういったことについて、みんなで相談していきましょうという話になっていくのであれば、当然一緒にやっていきたいと思えます。これをもらって、重く受け止めて、全市的な議論に結び付けていくべきだと考えています。
<p>元島委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● いわゆる戦略的な進め方だと、環境アセスメントという言葉にこだわってる

	<p>んですが、今、同じ方向の2か所の地域にお願いしようとしているときに、1か所にほぼ絞ってからアセスメントをお願いしますよということにしないと、当該地域の皆さんの感情を逆なでしないかということ。そういうことが確認できれば、委員長おっしゃった、戦略的な、前向きなのという、奈良市が、この財政の逼迫した状態の中で、確定した予算が一年で組めなければ、複数年に渡って組める。戦略的アセスメントという言葉の中に、できるだけ具体的に、手続き的なものにこだわらずに、小学校や中学校の子どもに分かるような、模型を作ったような、こんなものにするんだというのを、絶対に忘れてはいけないと思うんです。4地区から来た今日の書面も見てますとね、おおよそ整理できるような4点は、ほぼ一緒ですので、その中でしこんでいくということを踏まえて、進めていくのがいいんじゃないかと思います。</p>
<p>渡邊委員長 元島委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● そうですね。それをしないと進まない。 ● それをしないと、できます、できますでは、分からんのが日本の行政の、悪い方のやり方ですから、是非、そういうことにならないように。納得して後で後悔しないような。そういうことが歴史的な美観につながると思いますから。そうして頂きたいと思います。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 実際、そういった作業っていうのは、具体的に、これにはどれくらいお金がかかって、どんな設備ができてっていうのは、やはり市が行うべきことかと。皆で一緒になって考えて、そんなふうにしたいと思います。
<p>森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 3次元CGがかなり発達してしまっていて、どんなものを作りたいかということが、具体的に、立体的にできるような技術もあって、あそこへ建てたら、どういう形になるのかということ、具体的にイメージができるんです。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 謎のごみの山の話。息田部長来られていますので。部長、お話聞かれています？冒頭にそういう話があったので。ご説明頂けたら。
<p>息田部長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 外に積んである、不燃物と言っていますが、大型ごみ、あるいは月1回の木曜と金曜日に収集しているごみにつきまして、元は清掃工場の節電対策で炉を止めました。7月8月、止めた結果、不燃物の中には当然、色んなものが混ざっております。それを破砕機で分別処理します。燃える物については工場の方へベルトコンベアで流れて焼却します。燃えない方については、埋め立てなど、色んな処理をしている訳です。焼却場の生ごみを入れるピットが満杯になったため、破砕機が動かせなくなったということです。今、ピーク時の大体3分の1まで減っております。残っているものにつきまして、年度末にもなっておりますので、他の処理をしようとするれば、予算を伴うものですので、外部処理するか、内部処理するか、今、検討しているところです。放置するということは、当然いいとは思ってませんので、早急に、左京の連合会の方にも年末を目途にということで、回答させて頂いてたんですが、早急に処理したいと考えております。
<p>渡邊委員長 息田部長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 装置の何か、故障があったとかいうのはないですか？ ● 要は、焼却炉の方の節電で1炉止めました。止めた時に、一つが故障したんです。だから2つ止まったんです。

渡邊委員長 息田部長	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障もありましたか？
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障も重なり、そこへ1週間溜まったごみを土日で燃やすんですが、ちょうど日曜日に施設の電気点検がありまして、一日電気が止まりました。色んな事が重なって、溜まってしまったというのが現状なんです。我々としては年末までには片付く見込みでしたが、山は、確かに見えています、量的には3分の1ぐらいまでは減っています。職員も正月休みも返上して出てきてやってくれています。結果的には処理できませんでしたが。外部委託も含めて検討しています。
息田部長	<ul style="list-style-type: none"> ● ご苦労様です。最初にA委員から山の話がありましたので。事実関係を詳しくという話ではなく、逼迫している状況であることを市長宛の文書の中に入れるべきだという話で、出てきたものですから。部長が来られてから、お伺いたまです。充分に分かりました。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 新年早々遅れまして、申し訳ございませんでした。本年もどうかよろしくお願ひします。
息田部長	<ul style="list-style-type: none"> ● 大型ごみの処理場から東側にもう一つ小さな棟がありますね。そこで今、ボーリング作業やっておられますが。あれは何ですか？
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 焼却炉の熱が上がらないように、地下水使用して、常に水まいていますが、その井戸施設のオーバーホールをしています。
息田部長	<ul style="list-style-type: none"> ● 焼却炉の施設ですか？
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ● はい。元々井戸があります。出が悪くなったので、ボーリングをしています。
息田部長	<ul style="list-style-type: none"> ● それは結局、白い湯気になって出てくる。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度が上がらないように、水をかけています。
事務局（平木）	<ul style="list-style-type: none"> ● 皆さん、あまり存知ないと思いますが、焼却炉の排ガスは、燃やした後、ごみの中に入っている熱量が全量排ガスの方に行くと、理論的な最高温度は1,200℃とか1,300℃になります。もっとガス量を絞れば1,500℃に上げることもできます。それを利用するのがガス化熔融炉なんです。現有の左京にある施設ですと、もう少し空気比多いですから、恐らく最高温度で計算では1200℃くらいになります。でも1,200℃のガスを煙道に流しますと、煙道が壊れますので、温度が800℃くらいに下がるように、燃えた後で、いきなり上から水をかけて、ガス温度を下げて、流すようにしています。水噴炉という言葉を使いますが、その水の量は、ごみ1トンあたり、水1トンとかです。もっと使うこともあるんです。ですから、井戸水を汲み上げると、やはり管が段々細くなってきてしまって、くみ上げができなくなるんです。それで、井戸自体のオーバーホールでおっしゃってたんですね。ですから、煙突から白い煙がモクモク出てるっていうのは、あれは水蒸気ですが、あれはガスの温度を下げるために水をかける。かけた水がそのまま水蒸気に出る。
事務局（平木）	<ul style="list-style-type: none"> ● 補足説明をさせていただきます。まず排ガスの中の40%程が水蒸気ということで、冬場には水蒸気がよく見えます。それと先程水蒸気が、ボーリングしている近くから見えるという話で、焼却炉の施設とはまた別に、破碎機の方で、爆発防止対策で、水蒸気防爆というのを採用してまして、それ用のボイラー設

<p>A委員</p>	<p>備が、その近くにございます。それが冬場に白煙として見えると、そのことをおっしゃっているのかなと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この近くの施設で、上水道使わないで、自前で地下水を掘ったんです。しかし使い物にならない。木津川市の中にも、灌漑用に井戸を掘っておられますが、使い物にならない。そういうところで、さらに井戸を掘られるのが、よく分からなかったんです。今からボーリングされてるっていうのが、まだそんな追加工事をおやりになるのは、どういうことなのかと。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 完全には解決してないと思いますが、装置のトラブルもいくつか起こってあるということですね。皆さん、よろしゅうございますでしょうかね？
<p>佐藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 結構です。次回、どういうことをするか。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 次回2月23日ですね。市長から、回答、すぐもらえると思えない。
<p>森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● もらう前提で議論したらいい。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市長さんから、中間報告頂いたら、うれしいですが、いきなりアセスメントの話をするべきじゃないと、思うんです。どうですか？ 住民からのアセスメントの影響的なことをしても、時期的に微妙ですか？
<p>田中副委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 次回までに、どの地区のどの部分にどんな施設を建てるというところまで、報告を頂ければ、有り難いですが。どの場所にということが、市長がまた決断ができなかったら、どんな物を建てるかぐらいなら、決められると思うんです。細かくなくても、今、懸念されている部分について払拭できるくらいまでは報告して頂けると思うんです。一番望むべくは、市長が、どこのどこに建てるということ、そこに事務局と相談の上に、どんな施設を建てて、それは懸念を払拭できるというのを、全部言って頂いたら、有り難いんですが、前段の分がなくても、後段のどんな施設で払拭できると報告を、私はして頂きたいです。行政のほうから。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務局からすると、どうですか？ いきなり、全部解決しますというようなことは、ちょっと言えないと思います。だから、時間的なものもあると思いますが。そういう方向で、用意して頂くことはできますか？
<p>事務局（吉住）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 田中副委員長の趣旨にできるだけ沿うような資料を、検討したいと思います。以前の資料の中で、施設整備のあり方ということで、提出させて頂いた資料がございますが、それを少し改めて、整理させて頂いて、検討頂くような資料を作りたいと考えています。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● その前編が2月23日で、後編を3月の終わりくらいにしましょうか。3月の終わりのときには、場所はここ、みたいな感じでやって頂いたら。日程を決めておきましょう。3月28日水曜日で、よろしいですか？では次回が2月23日で、その次が3月28日ということで、決めさせていただきます。
<p>事務局（美馬）</p>	<p>最後にご注意頂くことはありますか？ 例の意見書、回収させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 皆様方には、長時間、有り難うございます。次回の策定委員会は、2月23日木曜日の開催です。会場は、人権啓発センターの3階、こちらになっております。本日はこれを持ちまして閉会とさせていただきます。